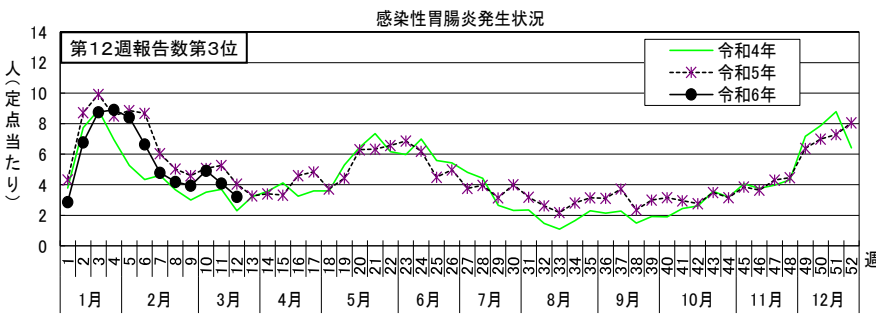
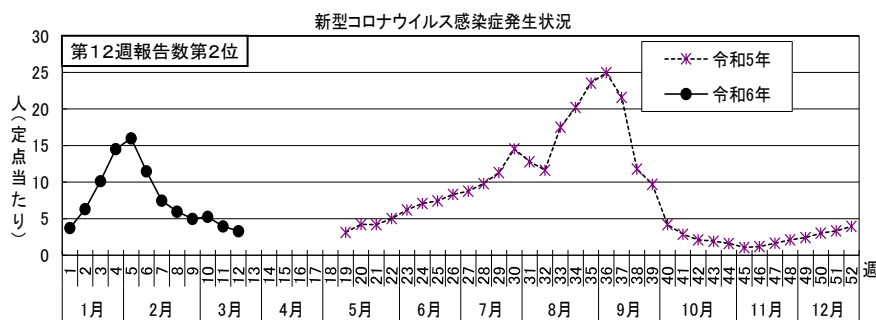
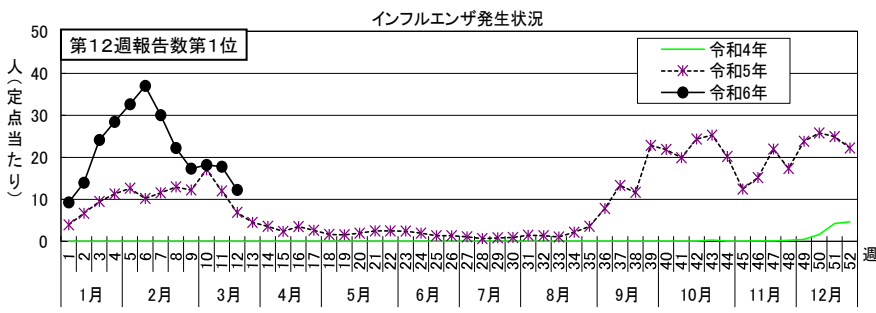


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年3月18日（月）～令和6年3月24日（日）〔令和6年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 新型コロナウイルス感染症 3) 感染性胃腸炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.25人と前週（17.78人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は3.30人と前週（3.95人）から横ばいでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.22人と前週（4.08人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



新年度から健康に過ごすために！

新年度を迎え、学校や保育園等で新たに集団生活が始まると、人との接触の機会が増加するため、感染症にかかる可能性が高くなります。市内では、昨年より早くからインフルエンザやA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行が継続しているほか、RSウイルス感染症は、例年より早い時期から報告がみられています。手洗い等の基本的な感染対策を実施するとともに、免疫力を高めるために、適切な睡眠や食事等も心掛けましょう。

また、麻しんや風しん等ワクチン接種により防ぐことができる感染症もあります。定期予防接種は、ワクチンの種類によって対象年齢が決められているため、母子健康手帳に接種の記録がない場合は、対象期間内に忘れずに接種を受けましょう。

感染症にかからないために気をつけたいこと

- ① 予防接種
- ② 手洗い
- ③ マスクの適切な着用
- ④ 十分な睡眠
- ⑤ バランスのとれた食事

麻しん風しんの定期接種（MRワクチン）を期間内に受けられなかった方へ

川崎市では、麻しん風しんの第1期及び第2期の定期予防接種を期間内に受けられなかった場合、事前に申請することで、無料で任意接種を受けることができます。

【対象者】（川崎市に住民登録のある方）

- ・第1期分：2歳から3歳に至るまでの間にあるお子さん
- ・第2期分：小学校1年生のお子さん
 （6歳以上8歳未満であって、小学校就学の始期の属する年度の初日から当該年度の末日までの間にあるお子さん）

※申請方法等の詳細は川崎市ホームページを御確認ください。